１．基本情報

体験談記入日（☆）	2023 年　5　月　22　日
大阪大学での所属学部/研究科（☆）	経済学部
留学時の学年（☆）	２年
派遣ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ名（☆）	☑ 交換留学　　☐　研究留学助成金 ☐　その他　（　　）
渡航先国名・地域名（☆）	カナダ
滞在都市（☆）	バンクーバー
留学先大学等名（☆）	ブリティッシュ・コロンビア大学
留学先での所属学部/研究科（☆）	サウダービジネススクール
留学先で主に使用した言語	英語
渡航先への入国日（☆）	2022 年　9　月　1　日
渡航先からの出国日（☆）	2023 年　4　月　27　日
渡航先国での滞在期間（☆）	８か月
同伴者の有無・続柄・年齢等	なし
その他	

２．留学先の大学に関する情報

２．１授業に関する情報

履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Introduction to Marketing Term 1 80 分×２４回 講義 ３
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Managerial Economics Term 2 ８０分×２４回 講義 ３
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Financial Accounting Term 1 ８０分×２５回 講義 ３
履修科目名称 履修期間	Managerial Accounting Term 2

授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	８０分×２５回 講義 ３
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Urban Land Economics Term 2 ８０分×２３回 講義 ３
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Introduction to International Trade Term 2 ８０分×２６回 講義 ３
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	Introduction to Finance Term 2 ８０分×２５回 講義 ３
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
履修科目名称 履修期間 授業時間（〇分×△回） 授業形態（講義・セミナー） 取得単位数	
留学生（日本人）の割合	少なくとも５０％（日本人は２～３％）
成績評価の方法（試験・課題の数や分量等）	課題（レポートやグループプロジェクト）：２０～６０%、 中間試験・期末試験：合わせて３０～６０％
履修科目の制限等（あれば）	Prerequisite を満たしていること。学生寮を利用する場合、

	１学期に最低９単位分を履修すること。
（英語圏以外の場合） 英語の使用頻度、英語での授業科目の充実度等について	
語学に関するｻﾎﾟｰﾄ(特別授業、ﾁｭｰﾀｰ、ｴｯｾｲﾗｲﾃｨﾝｸﾞに関するｻﾎﾟｰﾄ等)	利用せず
授業内での留学生に対するｻﾎﾟｰﾄ等	利用せず
その他	

２．２福利厚生に関する情報

大学内での福利厚生施設(生協・購買・食堂)について	学内のレストランやスーパーは充実しているが高い。ファストフード店やカフェは学外と同じくらいの値段。AMS Food Bank と UBC Sprout で無料で食材をもらうことができ、他にも無料で食事を提供している団体がある。ジムは有料だが、プールは無料。
図書館について	大きな図書館が３つあり、おそらく２４時間開館しているが混雑していることが多い。他にも、ビジネススクールの棟に図書館があり、学生会館や Forestry Building、Pharma Building など自習スペースはたくさんあり、どこでも（教室も）充電用のコンセントがある。
保健ｾﾝﾀｰ等の有無	有
ｸﾗﾌﾞ・ｻｰｸﾙ等について	9 月のはじめなどにクラブのブースが出ている。ボランティアを募集している学生団体も多い。
留学生へのｻﾎﾟｰﾄ	Go Global
オリエンテーション等学校主催の行事について	頻繁にキャンパス内外でイベントが開催されている。インスタグラムなどで情報が得られる。また、UBC Thunderbird のホッケーやバレーなどのスポーツは無料で観戦できる。
現地の学生との交流について	授業内やボランティア、寮内で交流があったが、留学生に比べて勉強で忙しい場合が多く、旅行などに一緒に出掛けることは少なかった。
他の留学生との交流について	寮でごはんを一緒に作ったり、イベントに参加したり、旅行に出かけたりした。交換留学生どうしが交流できるイベントが各学期のはじめにあり、その後は知り合いを紹介しあって交流が広がっていった。
学外での活動について(地域コ	UBC Sprouts でボランティアをしていた。

ミュニティー活動等）	
長期休暇中の過ごし方	旅行、ホームステイ、ファームステイなど
その他	

３．ビザ・入国・渡航直後の手続きに関する情報

ビザの種類（☆）	Study Permit
ビザの取得手続について（申請方法、申請から取得までの所要期間等）（☆）	ネット申請 ３月くらいに申請をして５月か６月には取得できていた。
利用航空会社	ＪＡＬ
入国の際の現地空港名	バンクーバー国際空港
空港から滞在先への移動について（交通手段や所要時間）	学生寮がまだあいていなかったので、知り合いが空港まで迎えに来てくれて、そのままホームステイした。
入国審査について（提示した書類、審査官からの質問等）	ビザ申請に使用した書類をすべて持って行った。ワクチン証明書はオンラインのものでよかった。滞在目的などを聞かれた。審査官からの質問が終わったら預け荷物をとってから空港の同じフロア内にあるオフィスで正式にStudy Permitの書類が発行される。
渡航後の手続き（在留届の提出、外国人登録等）	在留届の提出 ＭＳＰ（現地の加入義務の保健）の加入申請
その他	大阪大学のメールなどにログインができなくならないようにすぐに携帯電話の変更を登録しておく。

４．金銭に関する情報

奨学金の受給	有
奨学金名	業務スーパージャパンドリーム財団
奨学金月額受給額（円）	月 15 万円
入国時に用意した金額	現金３００ドルほど
ｸﾚｼﾞｯﾄｶｰﾄﾞについて（ｶｰﾄﾞ会社名・日常の利便性）	ＶＩＳＡ，ＭａｓｔｅｒＣａｒｄ 基本的に現地で銀行のデビットカードを使用していた。ホテルのデポジットなどでクレジットカードが必要だったが、それ以外ではあまり使わなかった。
留学中に利用した銀行名	ＣＩＢＣ
現地での銀行口座開設について（開設の有無・手続き等）	学内にＣＩＢＣの支局があり、すぐに開設できた。学生が利用料がかからない。
ﾃﾞﾋﾞｯﾄｶｰﾄﾞの使用について	ＣＩＢＣのデビットカードを利用していた。
日本からの送金方法について	日本からＷＩＳＥというサービスを使って現地の銀行口座に入金してもらっていた。

1ヶ月の生活費（目安）	12~１５万円（旅行などの費用は含まず）
その他	

５．暮らしに関する情報

５．１住居に関する情報

住居の種類(学生寮（一人部屋・二人部屋）・ｱﾊﾟｰﾄ等)	学生寮（４人のユニットでそれぞれ個人部屋があり、キッチン､リビング､シャワー､トイレを共有)交換留学生はFairview Crescent か Walter Gage に滞在していることが多い。
家賃	約 105000 円・月　（光熱費込み）
住居を探した方法・時期	ＵＢＣから来た案内に従って希望順位を登録、４月頃くらいからの登録で決定は８月頃だったと思う。
荷物の運搬方法（ハンドキャリー､国際宅配便（会社名、プランも）等	利用しなかった
その他	

５．２　食生活についての情報

普段の食事(自炊・食事つき学生寮等)	自炊
1ヶ月の食費	２万円（ボランティアなどで食材を無料で得られるようになってから食費はかかっていなかった）
その他	ＴＮＴというアジアンスーパーで日本の食材やお菓子など手に入るので、必ずしも持っていく必要はない）

５．３　その他日常生活に関する情報

電話について	Phone box を利用
ｲﾝﾀｰﾈｯﾄについて（Wi-Fi 環境等）	大学の Wifi を利用。ただし、Fairview Crescent の寮には有線しかないため、ルームメイトが購入したルーターを使わせてもらっていた。
ｺﾝﾋﾟｭｰﾀｰについて	
郵便について	学内に郵便局がある。
交通機関について	バンクーバー近辺で使えるバスと電車の定期券を買わなければいけない。ＵＢＣからはたくさんのバスが出ている。
治安について	バンクーバーは基本的には危険を感じることはなかったが、China Town には近づかないほうがよい。
保険について	iMed,MSP に強制加入＋ジェイアイ留学保険
医療機関・薬について	学内に病院がある
気候と服装について	バンクーバーにいる分には日本の冬の服装で十分だがウィンターブーツは必須だと思う。バンクーバーから出ると基本的

	にどこでも寒いが、ヒートテックなどを重ね着するなどして対応できる。
普段の買い物について	大学に近いスーパーは No Frills が一番安いが、アジア系の食材や野菜の品揃えが多い TNT によくいっていた。あまり買い物はしなかったが、Black Friday のときなどに服などは買うようにしていた。
娯楽・行事について	冬は基本的に天気が悪いので週末などは屋内で集まっていた。天気が比較的よい秋や春にはハイキングによく出かけた。
日本語の使用について	現地で就活をするとき以外は基本使用しなかった
日本から持参して特に役立ったもの/持参したら良かったもの	日焼け止め・保湿剤（日本よりも紫外線が強い・旅行などで氷点下２０度や３０度の地域に行くと寒さよりも乾燥肌で困ることが多かった、サラサラした感じの保湿剤では全く役に立たなかった）
留学前にしておいて良かったこと/しておけば良かったこと	簡単な中国語の勉強（中国語で話しかけられることが多かった、バンクーバーに近い Richmond という地域では英語よりも中国語が使われている。）
その他	

６．就職活動に関する情報

留学前の就職活動について（セミナー参加、自己分析、業界研究、就活サイト登録等）	とくになし。
留学中の就職活動について（海外からの情報収集、企業へのｺﾝﾀｸﾄ、ｲﾝﾀｰﾝｼｯﾌﾟ等）	ＵＢＣの日本人学生で組織された就活クラブがあり、セミナーなどが開催されていた。可能な範囲で、インターンシップの応募や面接をしていた。

７．語学の学習方法について

留学前に準備したこと、語学能力試験対策等	ＩＥＬＴＳの公式問題集を何冊かやった
留学中の学習方法、工夫したこと等	以外と一人で過ごす時間が多いので、Netflix などで空き時間に英語の作品をよく見て日本語のサイトを見る時間を減らした。
留学後にどれぐらい語学力が伸びたか（主観的な実感や具体的なスコア等）	あまり語学力が伸びた実感はないが、英語を使う際にあまりストレスをかんじなくなった。移民が多い地域なので、特にインド系やシンガポール系など、様々なアクセントの英語の聞き取り能力は伸びたように感じる。

８．その他

留学して得られたこと	
留学中に困ったこと	飛行機が頻繁に遅延やキャンセルされ、予期しない出費をすることもしばしばあった。
留学前/留学中に参考になったウェブサイト等	

９．留学体験談・エッセイ（様式任意）

留学を決めた理由、現地で履修した授業およびその感想、楽しかったこと、大変だったこと、これから留学を考えている後輩へのメッセージ等を１～２ページ(様式任意)で記載してください。また、留学中に撮影した写真数枚（本人も映っているもの）も合わせて提出してください（国際交流室の HP や Newsletter に掲載させていただく可能性があります）。

【留学を決めた理由】

私は、高校生のときに海外でフィールドワークや国際フォーラムのプログラムに参加した経験があり、それが大きな成長につながったので、大学でも留学するチャンスがあれば挑戦しようと漠然と考えていました。応募当時は１年生で、大学に入学したものの毎日を授業やバイト、サークルだけで過ごす単調な生活を送ることに危機感と退屈を覚えていました。そこで、新しい環境に身を置くことが自分自身の成長の機会になるだろうと思ったので留学を決意しました。

【UBC での勉強について】

UBC のビジネススクールの講義は大阪大学の講義よりもビジネスへの応用が意識されていて、プロジェクトや課題でもサンプルのビジネスの状況を把握し、習った技法でそのビジネスがとるべき方針を分析するという形のものが多かったです。具体的なテーマや発表の方法などは自由にチームで決められたのがとても楽しかったですが、その分、収集するべき情報の割り出しや資料作りなどが大変だと感じることもありました。例えば、マーケティングの授業では、アークテリクスというアウトドアアパレルメーカーのマーケティング戦略分析をした際は、実際に店舗に赴いてその立地や店舗内のレイアウトなどを観察したり、提出資料のビデオを作製するために外で撮影しナレーションをつけて編集したりと、初めての経験が多かったですが、完成させたときの達成感も大きかったです。

【楽しかったこと】

長期休暇で初めての１人旅でファームステイに行ったことです。ホストはインターネットで探しました。氷点下 30 度くらいが当たり前の極寒地で、馬や牛、バイソン、ヤギやブタなどの餌やりをしたり、動物たちがなめるソルトブロックの台をタイヤでつくるプロジェクトをしたりして、仕事が終わればロッジの暖炉の前でとにかくゆっくり時間を過ごす、という日本では絶対にできない体験ができました。印象的だったのはとても空がきれいだったことです。地平線まで他の建物がない大平原の朝日や夕日はものすごくきれいで、夜になれば星空やオーロラを見るために散歩に出かけていました。

【留学を考えている方へ】

私は留学を通して「何事もなんとかなる」ことを学びました。留学を決断する前は海外で１人で生活することに不安を感じて、それを留学にいかないための理由にしようとしていた時期もありました。実際、旅行時の飛行機の大幅遅延やキャンセル、カード決済の二重引き落としなどのトラブルは何度も経験しましたが、周りの人にも助けを求めながら必要な情報を集めれば毎回どうにかなったものです。むしろ慣れてからは旅の思いがけない経験として楽しみ、自己成長の機会として捉えられるようになりました。留学をするのに高尚な動機はいらないと思いますし、すでに述べたように、何事も何とかなります。少しでも留学に興味がある方は、ぜひ挑戦してほしいと思います。

（他の留学先と UBC を迷われているかたへ、UBC やカナダのあれこれ）

・比較的治安が良い（１人で出かけても不安を感じることは少なかった）

・他の留学先と比べ移民が多い（聞きなれない英語のアクセントで苦戦するかも、日本の食糧は何でも現地で手に入る、アジア人差別は感じなかったです）

・ＵＢＣではフードロス削減や学生支援などのために活動している団体があり、自炊すれば無料でもらえる食糧だけで生活することも可能

・バンクーバーの冬はずっと曇りか雨（バンクーバーではあまり遊べないので他の地域に飛行機で旅行に行くことが多い、意外とバンクーバーでの服装は日本と同じで良いが旅行先はどこも寒かった、＊とにかく晴れないので天気で気分が落ち込みやすい人にはしんどいかもしれないです。）

・自然好きやウィンタースポーツ好きにおすすめ。バンクーバー近辺はきれいなビーチや公園が多く、ハイキングやサイクリングが最高です。旅行でロッキー山脈やナイアガラの滝などに行きやすい。